

平成 24 年 2 月 22 日

「脳卒中から助かる会」

代表 上野 正 様

横浜市長 林 文 子

横浜市の脳卒中救急医療体制（カレンダー病院体制）改善の要望について（回答）

さきにご要望（平成 24 年 2 月 9 日）のありましたことについて、次のとおりお答えします。

I カレンダー病院の十分安全な基準を設定し、市が責任を持って認定する。

本市の体制参加基準は、体制構築前から体制参加を表明していた医療機関との連絡会議で議論を重ね、その意見を反映して決定したものです。

今後参加医療機関との連絡会議を通じて、より丁寧でわかりやすい表現となるよう検討していきます。

II 脳卒中救急の直近搬送を修正し、搬送を病院の能力に対応させる。

体制参加病院は、これまでの救急受入実績や t-P A の施行実績に開きも出てきていますので、医療機関との連絡会議等を通じ、医療機関と協力して体制の充実・強化に努めていきます。

III 各カレンダー病院の医療体制と、治療成績の情報を広く一般に開示する。

体制参加病院の多くは、搬送される患者の状態が様々であり、病院毎の治療実績の蓄積件数も少ないことなどから、治療実績の公表は慎重に行うべきとの意見です。

しかしながら、運用開始から 3 年が経過しましたので、現在脳血管疾患救急医療体制参加病院に対して、各病院が自主的に治療実績を公表する事の協力を求めており、24 年度の公表に向けて、公表項目の詳細について慎重に検討しています。

この旨ご了承いただき、貴会の皆様によりしくお伝えください。